

「リスクレベル5 厳戒警報」に係る対応について

県内の感染状況

- ・4月中旬から大きく感染拡大し、4月18日にレベル4基準を満たし、4月22日にレベル5基準を満たした。(4/15~4/21の新規感染者186人、4/22の病床使用率25.1%)。
- ・県外が関係する感染者は多いが、県内の市中感染も増加。
→県内にも「第4波」が到達

国等の動向

- ・全国的に感染は拡大しており、特に関西地方では、変異株の影響もあり、感染が大きく拡大。
- ・全国的に、まん延防止等重点措置適用自治体は増加。
- ・緊急事態宣言の適用を要請する自治体も出てきた。
→感染の拡大傾向は継続すると考えられる

リスクレベル5の基本方針：感染要因に応じ、接触機会を軽減する強い措置を講じる。

感染増加の特徴

- ・全県的に感染が増加しており、人口比を考えると特に有明保健所管内、熊本市で増加(山鹿保健所管内は単一のクラスター)。
- ・多様なクラスターが発生しており、クラスターに關係する感染者が多い。
- ・クラスター以外では、県外が關係する感染が多い(19.3%)が、県外での行動歴のない県内市中感染も多数(33.9%)。
- ・多様な感染経路であり、飲食店など、特定の経路で継続的な感染増加は起こっていない。
- ・リンク無し感染者は継続的に増加。

→年度末・年度当初の県外由来の感染が県内で増加し、県内感染への移行が進んでいる段階と考えられる。

県民への要請・県の対応

※…医療機関への通院、食料・医薬品・生活必需品の買い出し、必要な職場への出勤、屋外での運動や散歩など、生活や健康の維持のために必要な場合を除く

県外感染対策の要請

- ・全ての県外への不要不急の移動※を控えること。県外に在住する親戚等へ、帰省を控えるよう呼び掛けること。
→大学を含め、学校にも課外活動等において対外遠征禁止などの措置を依頼。

県内市中感染対策の要請

- ・高齢者とその家族は、不要不急の外出※を控えること。
- ・有明保健所管内においては、不要不急の外出※を控えること。

ゴールデンウィークは
県内でゆっくり
過ごしましょう

県の対応

- ・県有施設は基本的に休館、県主催イベントは中止または延期。
- ・GOTOイートの新規発行の停止、飲食店における感染防止徹底のための見回り訪問の実施。

4月24日(土)から開始し、感染状況に応じ、適宜見直しを行い、対策の緩和又は強化を行う。

リスクレベル4の水準に改善：対策の緩和の検討

リスクレベル5の水準が継続：飲食店での感染拡大→時短要請
市中感染の拡大→外出自粛要請